



記者発表資料
2025年（令和7年）10月20日

藤沢記者クラブ各位



令和7年度藤沢市文書館収蔵資料展
**「湘南ライフタウンの半世紀
—新しい地域社会の創造のために—」**を開催します

藤沢市文書館では、10月27日（月）から12月19日（金）まで、収蔵資料展「湘南ライフタウンの半世紀 —新しい地域社会の創造のために—」を開催します。

2025年は湘南ライフタウンが分譲を開始して50年の節目となります。1960年代の藤沢市は、人口の急増と宅地・工場用地の盛んな開発により、無秩序な市街化による市民生活の悪化が懸念されていました。市は開発にあたり、建築家の黒川紀章氏に都市計画を依頼し、特徴のある区画整理を行いました。農業との共生や民間企業との協働といった、新しい形のまちづくりが試みられた結果、優れた住環境は今日まで高く評価されています。

昭和100年を迎える中、今回の展示では、湘南ライフタウンの開発意図や都市政策、整備過程などを、主に行政刊行物から振り返ります。

会期 2025年（令和7年）10月27日（月）～ 12月19日（金）
午前9時～午後4時30分 土・日・祝日休館 ＊入館無料

会場 藤沢市文書館3階展示室（藤沢市朝日町12-6）

展示構成

- ・「明日の飛躍のために」
- ・「緑と太陽のライフ・タウンを」
- ・「住みたい、住み続けたいまち、湘南大庭」
- ・大庭台墓園について



ID471 西部開発事務局文書や市広報課（当時）
撮影の写真等、総資料数約60点を展示予定。

建設中の県営湘南西部団地と小糸橋バス停（1975年）

（裏面に続きます）

関連企画

(1) ギャラリートーク

場所 藤沢市文書館3階展示室（展示会場内）

日程（全3回）各回午後2時より1時間程度の予定。※申し込み不要

第1回：10月31日（金） 藤沢市文書館学芸員・展示企画担当

第2回：11月21日（金） 藤沢市住まい暮らし政策課職員

第3回：12月12日（金） 湘南大庭地区郷土づくり推進会議委員

(2) ミニ展示「開発前の湘南大庭」

湘南ライフタウン開発前の大庭は、人口3,000人程度の農業地帯でした。山裾や谷戸に集落が点在し、台地の雑木林は部分的に畑として切り開かれていました。ミニ展示では農村だった時代の湘南大庭地区について紹介します。

会期 2025年（令和7年）10月22日（水）～終了日未定

午前8時30分～午後5時 土・日・祝日休館 ＊入館無料

場所 藤沢市文書館1階ロビー

*文書館ウェブサイト <https://digital.city.fujisawa.kanagawa.jp/>



【この資料に関する問い合わせ先】

藤沢市役所 市民自治部

市民相談情報課 文書館

内線：6254

担当：佐藤 澤内 栗原

直通：0466(24)0171